



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

上場会社名 株式会社 帝国電機製作所
 コード番号 6333 URL <http://www.teikokudenki.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 白石 邦記

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総務本部長 (氏名) 村田 潔

TEL 0791-75-4160

四半期報告書提出予定日 2019年11月11日

配当支払開始予定日

2019年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	11,554	9.4	1,760	39.1	1,749	23.9	1,121	23.9
2019年3月期第2四半期	10,566	13.1	1,265	41.9	1,412	44.0	905	63.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 943百万円 (49.4%) 2019年3月期第2四半期 631百万円 (13.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	56.77	
2019年3月期第2四半期	45.83	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	34,344	25,510	73.9	1,284.83
2019年3月期	34,310	24,814	72.0	1,249.86

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 25,391百万円 2019年3月期 24,700百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		12.00		12.00	24.00
2020年3月期		15.00			
2020年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,340	4.8	2,620	29.4	2,710	21.7	1,850	82.0	93.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	20,408,138 株	2019年3月期	20,408,138 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	645,588 株	2019年3月期	645,583 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	19,762,550 株	2019年3月期2Q	19,757,445 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済情勢について、わが国経済は個人消費や企業の設備投資等の内需に底堅さが見られる一方、海外経済に減速感があり、輸出の伸び悩み等から足踏み感があります。米国経済は、個人消費が支えとなって足許は堅調に推移するものの、中国等との通商政策の動向や製造業の低迷から、成長ペースには減速が見込まれます。欧州経済については、製造業を中心に弱さが目立っており、停滞が続いております。また、中国経済は米国との貿易摩擦による影響等を受け、輸出の低迷、個人消費や設備投資にも力強さが無く、成長に減速が見られます。

上記のとおり、世界経済全体としては勢いを欠き、先行きの見通しには不透明感が強まっております。

このような状況の中で、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、ポンプ事業は、国内市場においては、前期受注が堅調であったことから前期並みの水準を維持し、海外市場においては、前期の好調な受注を背景に中国、米国市場を中心に増加いたしました。一方、電子部品事業は自動車メーカーの系列化や工場の海外移転等の影響を受けたことに加え、人員不足等による生産性の悪化により、減少いたしました。

これらの結果、グループ全体として売上高は11,554百万円（前年同期比9.4%増）となりました。

利益面につきましては、主にポンプ事業における売上の増加により営業利益は1,760百万円（同39.1%増）、経常利益は1,749百万円（同23.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,121百万円（同23.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(ポンプ事業)

ポンプ事業の売上高は、国内市場においては、主にケミカル機器モータポンプが増加いたしました。また、中国市場でケミカル機器モータポンプ、メンテナンス関連が増加し、米国市場でケミカル機器モータポンプ、原子力関連ポンプが増加したことから、全体として堅調に推移いたしました。

その結果、売上高は10,427百万円（前年同期比10.9%増）、連結売上高に占める割合は90.2%となりました。

また、営業利益は、売上の増加に加え、当社中国子会社において販売費が減少したこと等により1,850百万円（同48.0%増）となりました。

(電子部品事業)

電子部品事業は、売上高は834百万円（前年同期比5.6%減）、連結売上高に占める割合は7.2%となりました。

また、営業利益は、売上の減少及び新製品取扱いに伴う製造コストの増加等により、粗利率が悪化したことから143百万円の損失（前年同期は25百万円の営業損失）となりました。

(その他)

その他は、売上高は293百万円（前年同期比4.7%増）、連結売上高に占める割合は2.6%となりました。

また、営業利益は、売上の増加及び粗利率が改善したこと等により、53百万円（同29.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は22,665百万円となり、前連結会計年度末に比べ274百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が678百万円増加したことによるものであります。固定資産は11,678百万円となり、前連結会計年度末に比べ240百万円減少いたしました。これは主にのれんが106百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、34,344百万円となり、前連結会計年度末に比べ33百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は7,837百万円となり、前連結会計年度末に比べ758百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が770百万円減少したことによるものであります。固定負債は996百万円となり、前連結会計年度末に比べ96百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は、8,833百万円となり、前連結会計年度末に比べ661百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は25,510百万円となり、前連結会計年度末に比べ695百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が877百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は73.9%（前連結会計年度末は72.0%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2019年5月13日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,369,290	9,047,996
受取手形及び売掛金	8,112,645	8,090,114
製品	1,746,809	1,834,396
仕掛品	1,998,453	1,714,935
原材料及び貯蔵品	1,924,804	1,850,591
その他	454,876	374,178
貸倒引当金	△215,535	△246,716
流動資産合計	22,391,344	22,665,496
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,862,465	4,707,228
その他（純額）	4,069,393	4,156,057
有形固定資産合計	8,931,859	8,863,286
無形固定資産		
のれん	512,201	405,625
その他	286,052	255,918
無形固定資産合計	798,254	661,544
投資その他の資産	2,188,948	2,153,771
固定資産合計	11,919,062	11,678,601
資産合計	34,310,406	34,344,097
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,883,295	2,112,975
短期借入金	316,160	466,339
未払法人税等	1,493,705	1,508,304
製品保証引当金	27,440	26,890
賞与引当金	489,339	474,295
その他	3,385,874	3,248,275
流動負債合計	8,595,814	7,837,080
固定負債		
長期借入金	78,890	74,970
退職給付に係る負債	450,335	472,681
その他	370,778	449,138
固定負債合計	900,003	996,790
負債合計	9,495,817	8,833,870
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,123,490	3,123,490
資本剰余金	3,311,719	3,311,719
利益剰余金	18,383,679	19,261,593
自己株式	△809,769	△809,775
株主資本合計	24,009,119	24,887,027
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	364,364	362,078
為替換算調整勘定	386,023	196,604
退職給付に係る調整累計額	△58,991	△54,142
その他の包括利益累計額合計	691,396	504,540
非支配株主持分	114,072	118,659
純資産合計	24,814,588	25,510,227
負債純資産合計	34,310,406	34,344,097

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	10,566,254	11,554,906
売上原価	6,223,717	6,791,036
売上総利益	4,342,536	4,763,869
販売費及び一般管理費	3,076,586	3,002,938
営業利益	1,265,950	1,760,931
営業外収益		
受取利息	5,649	4,932
受取配当金	25,466	22,029
受取賃貸料	15,189	17,241
為替差益	87,835	—
スクラップ売却益	14,838	23,146
その他	23,308	33,847
営業外収益合計	172,287	101,198
営業外費用		
支払利息	17,255	13,407
為替差損	—	91,252
その他	8,879	7,740
営業外費用合計	26,135	112,400
経常利益	1,412,102	1,749,728
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2,464
特別利益合計	—	2,464
税金等調整前四半期純利益	1,412,102	1,752,193
法人税等	508,861	615,803
四半期純利益	903,240	1,136,389
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,389	14,525
親会社株主に帰属する四半期純利益	905,629	1,121,864

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	903,240	1,136,389
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55,671	△2,285
為替換算調整勘定	△225,326	△195,158
退職給付に係る調整額	9,665	4,848
その他の包括利益合計	△271,331	△192,595
四半期包括利益	631,908	943,793
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	637,664	935,007
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,755	8,786

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

国際財務報告基準（IFRS）を適用する在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第2四半期連結貸借対照表において、有形固定資産のその他が109,428千円、流動負債のその他が46,006千円、固定負債のその他が78,798千円それぞれ増加し、利益剰余金が7,657千円減少しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自2018年4月1日 至2018年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ポンプ事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,402,483	883,444	10,285,927	280,327	10,566,254
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,402,483	883,444	10,285,927	280,327	10,566,254
セグメント利益又は損失(△)	1,250,231	△25,780	1,224,451	41,498	1,265,950

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特殊機器を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,224,451
「その他」の区分の利益	41,498
四半期連結損益計算書の営業利益	1,265,950

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2019年4月1日 至2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ポンプ事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,427,021	834,300	11,261,322	293,584	11,554,906
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,427,021	834,300	11,261,322	293,584	11,554,906
セグメント利益又は損失(△)	1,850,894	△143,666	1,707,228	53,702	1,760,931

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特殊機器を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,707,228
「その他」の区分の利益	53,702
四半期連結損益計算書の営業利益	1,760,931

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	前年同期比 (%)
ポンプ事業 (千円)	10,878,561	12.1
電子部品事業 (千円)	834,269	△5.6
報告セグメント計 (千円)	11,712,830	10.6
その他 (千円)	180,876	2.1
合計 (千円)	11,893,707	10.5

(注) 1. 金額は、販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注状況

当第2四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
ポンプ事業	10,691,572	△12.9	9,852,373	△0.0
電子部品事業	818,616	△6.4	133,263	△17.5
報告セグメント計	11,510,188	△12.4	9,985,637	△0.3
その他	251,185	0.6	64,310	△23.9
合計	11,761,374	△12.2	10,049,948	△0.5

(注) 1. 金額は、販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	前年同期比 (%)
ポンプ事業 (千円)	10,427,021	10.9
電子部品事業 (千円)	834,300	△5.6
報告セグメント計 (千円)	11,261,322	9.5
その他 (千円)	293,584	4.7
合計 (千円)	11,554,906	9.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。